

シーカヤック等手漕ぎボート 需要調査アンケート 集計結果



1. アンケート調査の概要

目 的

シーカヤックやボートなどの水面利用者の利用実態、
日頃感じている問題点、今後の利用希望などを把握

配布先

横浜・三浦を中心とする
県内のカヤック・カヌーショップやスクール(22箇所)、
その他県・市、各団体等



1. アンケート調査の概要

配布方法

ショップ等事業所へ持参または郵送
(各ショップ・スクール50～100部、事業所5～20部)

回収方法

FAXまたはショップからまとめて返送



1. アンケート調査の概要

配布期間

2010年9月上旬

回収期間

2010年10月中旬

回答数

113通



2. 集計結果

①シーカヤック利用者像・利用特性について

年 齢

40歳代が最も多い
次いで50歳代、30歳代と比較的シニア層が多い

性 別

男性が77%、女性が23%



2. 集計結果

①シーカヤック利用者像・利用特性について

保管場所

「自宅」と「ショップ艇庫等」が半々

利用頻度

「年間31～50日」30%、次いで「11～20日」20%、
「年間50日以上(週1回ペース)」も14%



2. 集計結果

①シーカヤック利用者像・利用特性について

利用季節

春・夏・秋ともにほぼ同数、最も多いのは「通年利用」
※モーターボート・クルーザ利用者：通年13%、「夏」が最多47%

利用水域

三浦半島西海岸、横浜内港（日本丸近く、大岡川）
その他、伊豆・富士五湖など活動範囲が広い



2. 集計結果

②日頃感じている問題点等

施設・設備

<陸と水辺の接点>

- 「乗降場がない」
- 「駐車できる場所がない」

- 「トイレがない」
- 「水を使える場所がない(洗艇)」



2. 集計結果

②日頃感じている問題点等

水域マナー

- 水上オートバイのマナーが悪い
- 港内を曳き波を立てて走る船がいる(釣り船など)

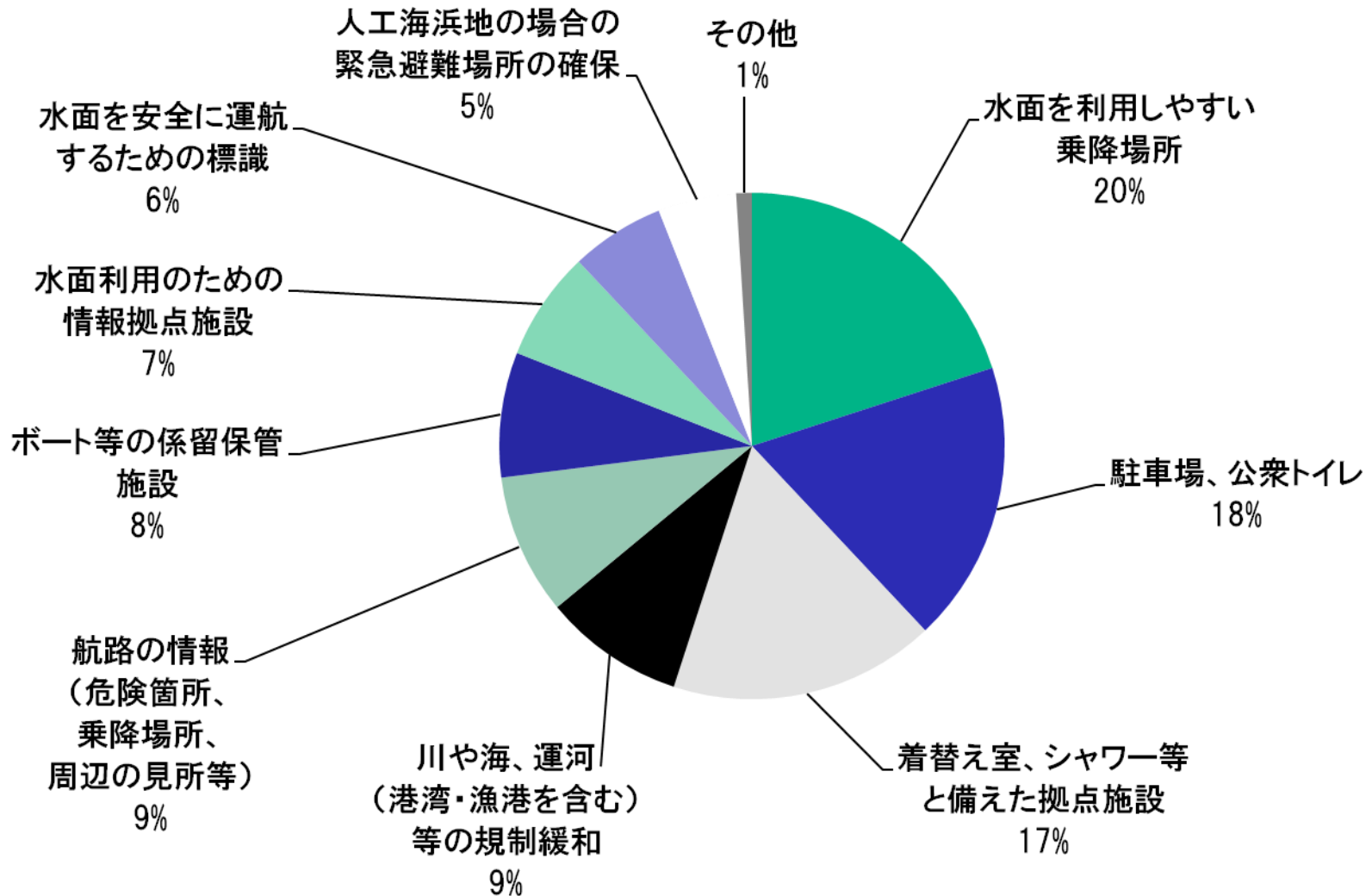
利用者間の調整

- シーカヤック等手漕ぎボートの立場が弱い
- 他のマリンレジャーを楽しむ方々との安全管理



2. 集計結果

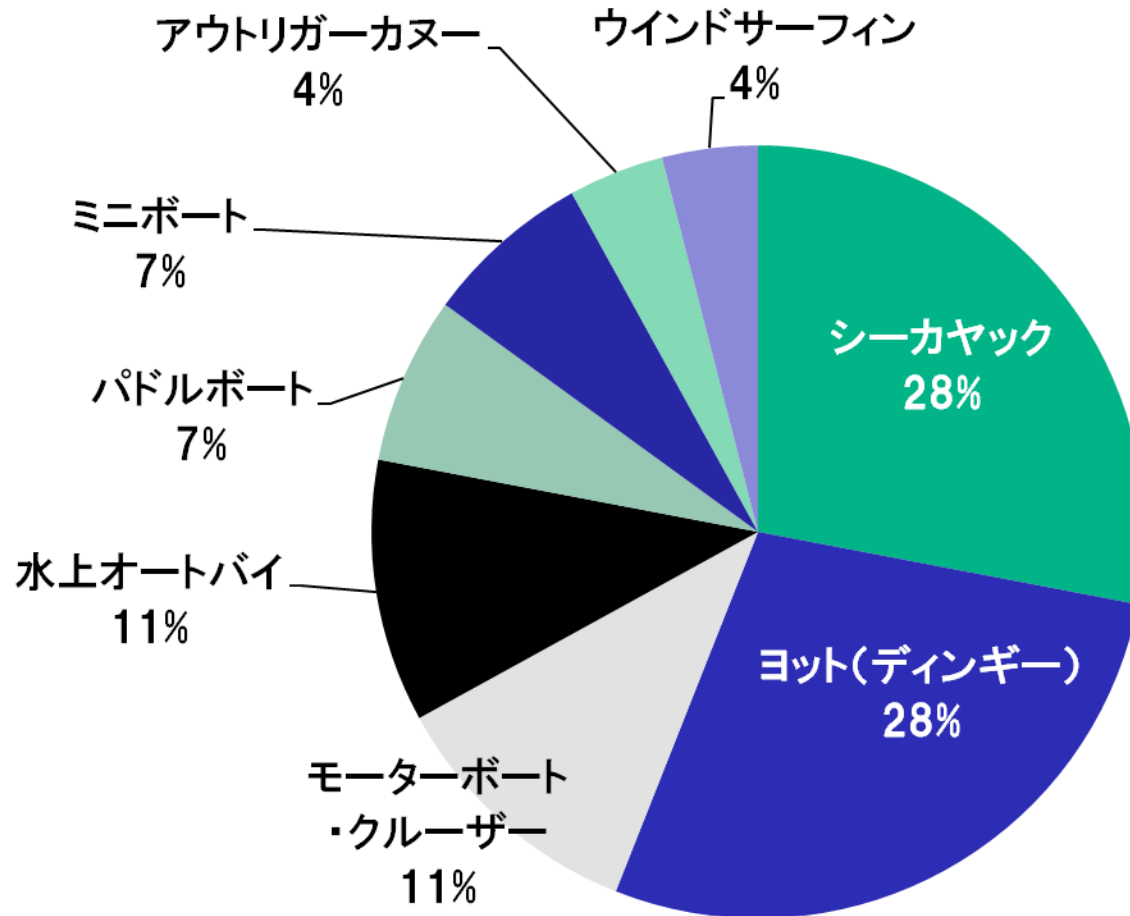
③整備が望まれる施設・整備等



2. 集計結果

④ 将来の利用意向

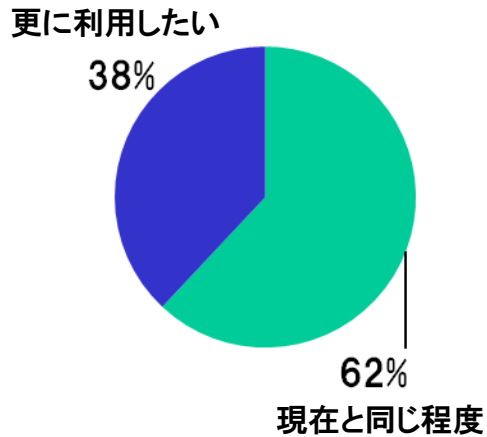
今後利用したい種類



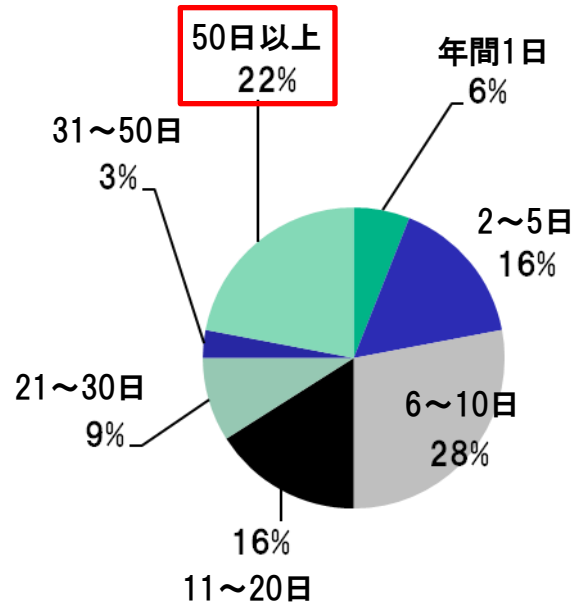
2. 集計結果

④ 将来の利用意向

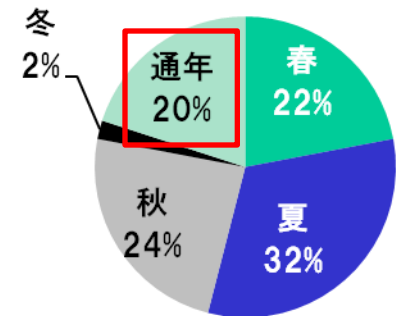
今後の利用頻度



今後の利用頻度
(日数)

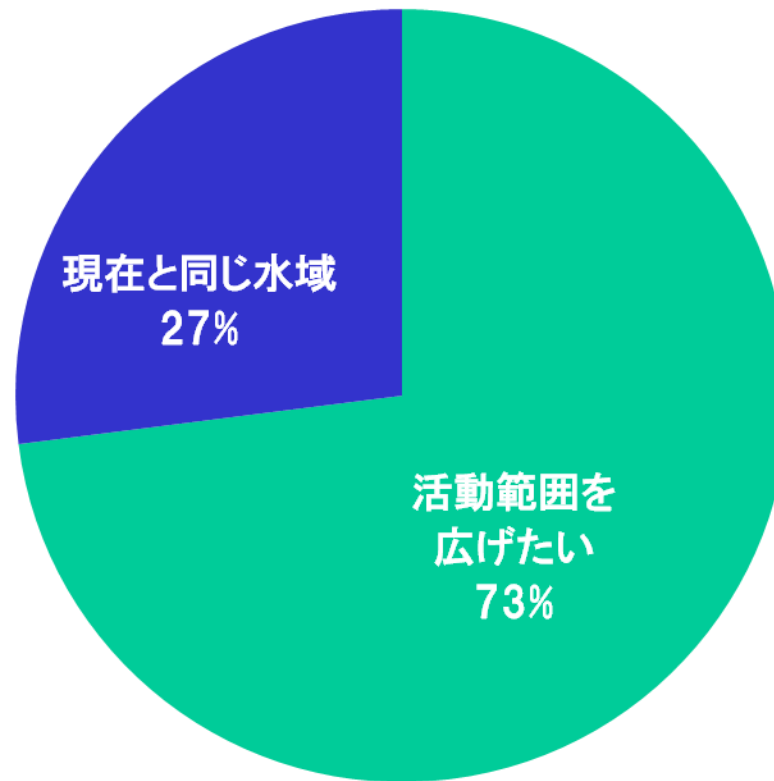


今後の利用頻度
(月別)



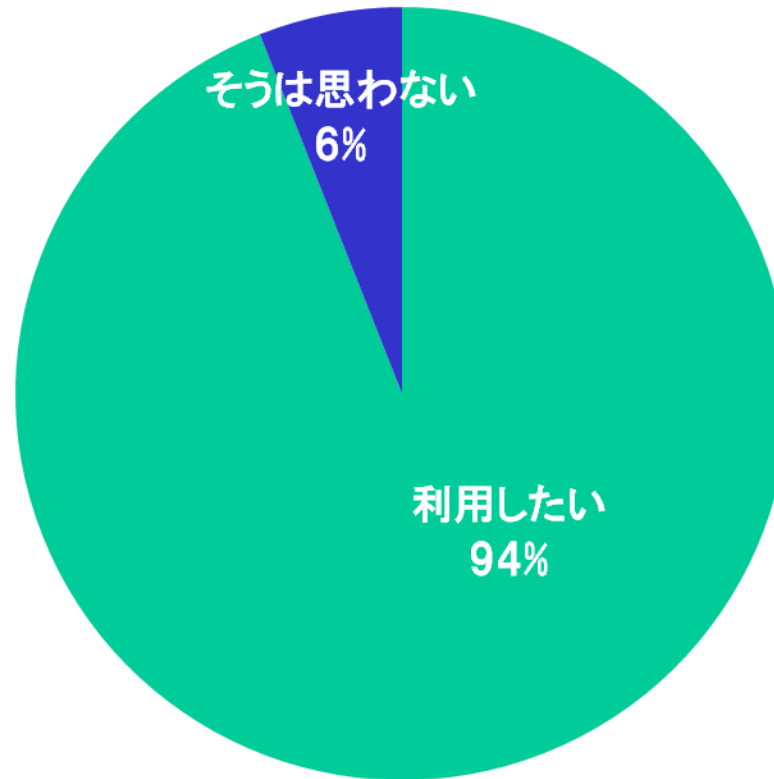
2. 集計結果

⑤ 今後利用したい水域



2. 集計結果

⑥横浜港インナーハーバー利用希望



2. 集計結果

⑦ 自主的ルールについての意見

ルールについての基本的なスタンスについて

- 河川港湾の法律に基づいたルールづくりが必要
- ヨット・ボート・漁船等水域利用者相互でのルールの作成
- 自己責任という考え方の徹底
- 禁止行為を明確にした安全に十分配慮した利用方法
- 非動力船に対する航法の周知を急ぐ
- 基本的ルールは必要だが、過度な規制は必要ない
- 自主的ルールよりも公的ルールへの格上げが必要



2. 集計結果

⑦ 自主的ルールについての意見

ルールの内容について

- 右側通行、水域のルール、法規などについて利用者の知識・啓蒙が必要
- 動力船(小型船舶、業務船、漁船、釣り船)のマナー向上
- 水上オートバイのマナーの向上
- 漁業者等との間のローカルルールの明確化と周知
- 安全に海で遊べるための分かりやすい標識を付けるなど、規制だけでなく利用しあうことを考える
- シーカヤックは視認性の高いフラッグを自主的に掲げる



2. 集計結果

⑦ 自主的ルールについての意見

水域について

- カヤッカーが利用できる水域を明確に
- 「動力船」と「非動力船」の航行区域を区別
- 利用種類ごとに水域を分ける



シーカヤック等非動力船が利用できる水域を明確にした方が
安全面からもよいとの意見が比較的多い



2. 集計結果

⑦ 自主的ルールについての意見

周知や運用について

- 自主的利用にあたって利用者のマナーを問う看板や標識の設置
- ルールが出来た時に教えてくれる場所づくり
- シーカヤック等を提供し学校や地域で、海でのマナーを子供のときから教えるような仕組み、インストラクターの活用



3. アンケート調査結果から見た論点のまとめ

シーカヤックは、季節に関わらず**通年利用**されている

シーカヤックの現在ユーザーは今後も利用し続けたい
未経験者は、シーカヤックを利用したいニーズあり
→ **利用ニーズの増加が予想される**

横浜港インナーハーバーでの利用希望ニーズは非常に高い

ハード面

陸と水面の接点となる乗降場ニーズが高い

車での運搬を要するために
駐車場、トイレ、着替え室・シャワーなどが備わった施設



3. アンケート調査結果から見た論点のまとめ

ソフト面

**水辺利用の安全を確保するための
基本的な水域利用の法的ルールの周知が必要**

安全に配慮した心構えや装備の周知が必要

**営業船など水域利用者間での
水域利用の理解と自主的ルールが必要**

